

12月15日1979・No. 22

# 京橋の印刷

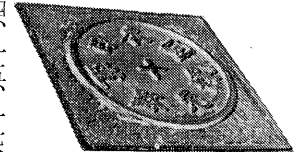
発行所  
 東京都印刷工業組合  
 京橋支部  
 〒104 東京都中央区新富1-16-8  
 日本印刷会館3F 電話 552-1855  
 印刷所 八千代印刷株式会社

日本橋 創設は慶長八年(一六〇三)と云われ、その後、一〇数回のかけ替えが行われ、明治六年の改造では、西洋風に馬車道と人道とに分けられた。現在の花崗岩製二連アーチ橋は明治四四年三月に完成している。

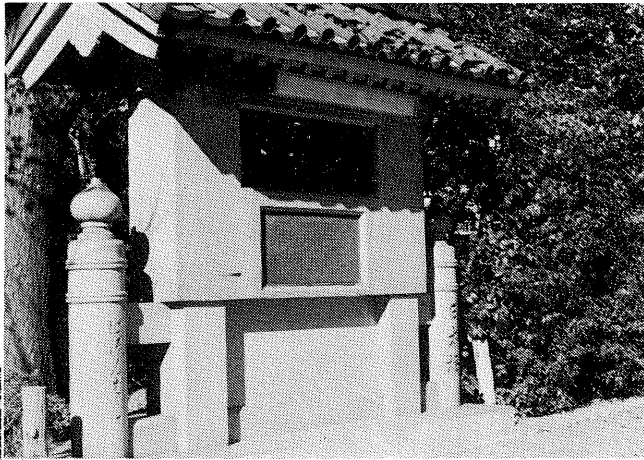
日本橋が諸国への道程の起点となったのは慶長九年のことである。今の橋は、架設当時は中央に路面電車の架線のポールを兼ねた、東京市道路元標が建てられていたが、都電の

廃止とともに橋の北詰西側に移されて、昭和四七年六月これに代って五〇糧平方角の砲金製の日本国道路元標が橋の中央に埋め込まれている。この道路元標は『道路法』にもづく国道一、四、六、一四、一五、一七、二〇号の七路線の起点を示めすものである。

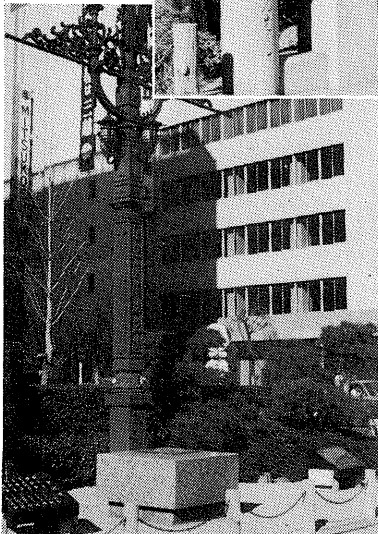
往事から日本橋がにぎわったことは、江戸時代からの地誌などにもみえて、昔から日本人の往來も多く、人目につきやすい場所柄から、橋の南詰西側には高札場が設けられた。同じ南詰東側は晒場として使用されていた。その高札場跡には日本橋由来記の碑が、昭和一七年に旧日本橋区の手によって建てられている。下を流れる日本橋川の上を首都高速道路環状線が走り、そこから橋畔にある旧道路元標の頭部だけが見えている。



日本橋上に埋め込まれた日本国道路元標。



上・南詰西側の由来記の碑。  
 下・北詰西側に移された旧東京市道路元標



情報化社会の進展に伴い、印刷業は知識産業の一翼を担い、将来に向けて有望産業の一つに数えられている。出版・放送業などと共に知識産業の分野にあることには間違いないと思うが、実態は果してそうであろうか。印刷業にはソフト面においてはたしかに知識産業の分野に属するが、ハード面においては明らかに製造業である。この二面性のもつウエイトによっては、新規学卒者導入を困難にし、加えて他の有望業種に比べて大きな賃金格差を生じている要因ではないか。安定成長計画を基本とする第二構改への歩みは、その矛盾の扉を開くものではなからうか。

## 巻頭一言

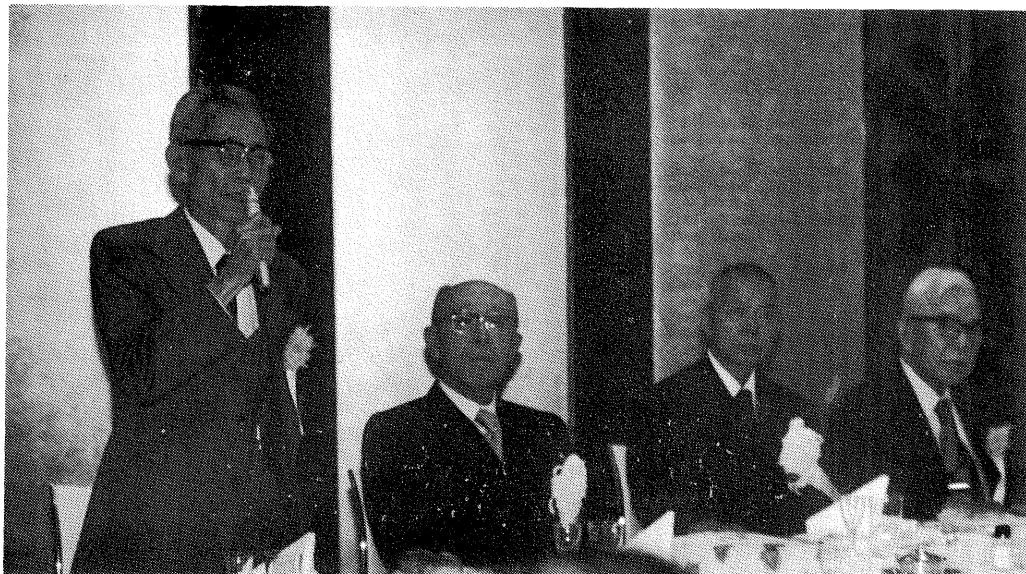
## 目次

|                       |             |    |
|-----------------------|-------------|----|
| 巻頭一言……………             | 小宮山支部長…………… | 1  |
| △追悼座談会▽               |             |    |
| 荻野・先川支部顧問を偲んで……………    |             | 2  |
| 荻野先輩を偲ぶ 伊坂一夫……………     |             | 15 |
| 荻野義博氏遺稿集より……………       |             | 16 |
| 税務研修会・永年勤続従業員表彰式…………… |             | 18 |
| 水野コレクション・シリーズ(5)      |             |    |
| 印刷文化の流れに沿って……………      |             | 20 |
| 湊地区懇親旅行記……………         |             | 22 |
| △地区だより▽ 月島地区          |             |    |
| 支部の動き・濁川氏黄綬褒章に輝く…………… |             | 23 |
| 編集後記……………             |             | 24 |

# 荻野・先川支部顧問を偲んで

## — 追 悼 座 談 会 —

昭和53年印刷功労賞受賞祝賀会で祝詞を述べる荻野義博氏(左)伊坂一夫氏、斉藤喜徳氏、先川道三氏(右)



### 戦前の組合活動は

### 役員選挙も区議選のよう

小宮山 年末も近くなりまして、執行部で企画いたしました座談会に、皆様方、大変お忙しい中をお集まりいただきまして、まことにありがとうございます。

ことし一年を振り返りますと、組合員皆様がお元気に、ますますご企業のご発展をということが念願の一つでございましたけれども、残念ながら今年に入りまして、すでに十一名の組合員の方々がお亡くなりになっている。こういう現状でございます。今日は、ちょうど「京橋の印刷」の十二月号の特集といたしまして、これらの方々をお偲びをし特に支部の顧問として、長年にわたって京橋支部の伝統確立に、言葉では言いあらわせないほどのご尽力をいただきました先川さん、荻野さん、このお二人を中心にしていろいろと思い出を語っていただければ、今後の支部の運営につきましても何かと参考になるのじゃないかということで企画を持たせていただいたわけでございます。ひとつお気軽に思い出のいろいろなことのお話をご披露いただければ幸いです。

開会に当たりまして、一言御礼とともに今日の座談会の趣旨をお話し申し上げます。どうかひとつよろしくお願い申し上げます。

業界のトップメーカーで  
全国で一番よく使われている！

ハート印 [ 名刺用紙・私製はがき・招待状カード・封筒  
株券用紙・賞状用紙・荷札・のし紙・カレンダー ] 発売元

# ハート株式会社

## 東京東支店

135 東京都江東区冬木15番10号 電話 東京(03) 641-1153 代表

本社 540 大阪市東区南農人町2丁目39番地 電話 大阪(06) 942-2321番(大代表)  
支店 札幌・仙台・東京西・東京南・東京北・静岡・名古屋・金沢・京都・神戸・岡山・高松・広島・福岡



小宮山 支部長

司会 支部報の「京橋の印刷」を発行  
 しましてから、もう間もなく二年になる  
 というところでございますが、なかなか  
 編集がうまくいきませんが、皆様のご協  
 力によりまして何うにか今日までまいり  
 ました、有難うございました。

早速ですが先川さんの思い出の紹介が  
 「京橋の印刷」の第三号の一、二ペー  
 ジに、先川さんが顧問にご就任になった  
 ときの紹介がしてございます。先川さん  
 は新潟県のご出身で、大正九年ごろ上京  
 され、八丁堀で活版印刷をお始めになっ  
 たと出ております。

先川さんのことは、白橋印刷の会長さ  
 んや石沢さんもお近くでもございました  
 し、いろいろとご存じのことだったと思  
 いますが、きょうは、白橋さんは所用が  
 ございましてやむなくご欠席です。そし  
 てご出席の予定ではあります。石沢さ  
 んも、他に所用があり二時頃にはお見え  
 になるとのことです。そこでご出席の先  
 輩皆様は先川さんについてご存じの方  
 でございますので、ひとつ先川先輩を偲  
 んで何かご紹介したいと思ひます。

先川さんは、本年  
 二月二十二日に八十  
 五歳でお亡くなりにな  
 りました。また荻  
 野さんは、ついこの  
 間、十月二十七日に  
 お亡くなりになって  
 おります。伊坂顧問  
 殿は荻野さんと同じ  
 地区ですから、組合  
 事業とか古くからの  
 おつき合いもござい  
 ましたでしょうから  
 ご披露をお願い申し  
 上げます。

伊坂 先川さんは  
 中村徳三さんとご懇  
 意でね……。

小宮山 支部報の  
 一五号の一三ページ  
 に、お亡くなりになったときの特集記事  
 がございます。それは業界での履歴が書  
 かれております。これなども、お古いと  
 ころはちょっとなじまない点もあるので  
 す。戦後は、高橋さん(正進社会長)が  
 支部長をおやりのときに、先川さんが副  
 支部長を委嘱されているという記事が一  
 四ページの中で出ておるのです。

森 私が先川さんに初めて会ったとき  
 のことなんですが……昭和二十二年に  
 東京の印刷工業組合の支部長を高橋さん  
 がおやりになっていて、そのときに組合

座 談 会 出 席 者

|              |        |
|--------------|--------|
| 京 橋 印刷 支部 顧問 | 伊坂 一夫  |
| 日本精版印刷 支部 顧問 | 中村 謹吾  |
| 大東印刷工業 支部 顧問 | 花崎 実   |
| 京 橋 印刷 支部 顧問 | 斎藤 喜徳  |
| 石 橋 印刷 支部 顧問 | 石 沢 幸  |
| 京 橋 印刷 支部 顧問 | 森 元雄   |
| 小宮山印刷 支部 顧問  | 小宮山 敬之 |
| 高千穂印刷 支部 顧問  | 小 山 英美 |
| 京 橋 印刷 支部 顧問 | 小 山 英美 |

にモリイチが入会したので。その入会  
 の条件として、必ず組合員の工場を見に  
 くるということで、先川さんがごらんにな  
 りに来たんです。それで、機械がある  
 から、これはブローカーじゃないという  
 ことで入会を認められた。

先川さんの活躍は  
 昭和一〇年〜二〇年代

小宮山 その時分、先川さんはどうい  
 うお役目でおられたんですか。

司会 副支部長ですね。

和・欧文 活字  
 材料 / テープ・メタルベース 他  
 インキ / 阪田大日本東京東洋 各  
 和・欧文 各パンフレットあります

株式会社 京橋岩田母型

551 - 1380・2830・(店頭)2827

プロセスインキの最高峰

New Champion  
**Super Apex**

大日本インキ化学

森 私たちの地区が先川さんの地区と一緒にだったと思うんですね。

伊坂 第一区が一緒だったのは終戦直後です。

森 二十二年ごろだと思えます。

伊坂 そのときには一、四、八区と一緒にだった。その前は、一区には西脇さん(一成社)だとか、浜田さん(国粹堂印刷所)、那智さんだとか、小宮山さんのお父さんがよく知っているが、猛者ばかりで盛んだった。

その後になって、若い人じや、尾島さん(三徳印刷)だとか畑井さん(文英堂印刷所)。

斎藤 二十四年ごろ、中村さん(中村精巧印刷)が支部長さんのときに、伊坂さんと先川さんと堀沢さん(秀英堂紙工印刷所)のお三人が副支部長だったと思います。

そして代議員という制度が始まったのは、たしか昭和十年ぐらいじゃないですか。その前後は、いまお話のように、森さんの小宮山さんがいらっしやる地区は、松地さんだとか浜田仙松さんだとか、堀口熊太郎さん(尚文館)だとか、区会議員かなんかやられた方が多くて、なかなかうるさい人ばかりだった。

代議員選挙なんかになると、区会議員の選挙と同じみたいでした。戸別訪問して、投票日には自動車で迎えに来てくれた。そのくらい代議員選挙というのはなかなか大変だったと覚えております。

その時分は、私あたりは子供ですから、親父の代理で組合の寄合に出ると、木藤彦三郎さん(三豊社印刷)が、「斎藤の坊や、食べちゃったら帰っていいよ」なんて。(笑)子供ですから「ありがとうございました」と、食べると帰ってしまいました。

ですけど、いろんな話を聞いて知っておりましたので、ときどき年を間違えられます。長島五郎さん(大秀社)なんかがおいでところに、先川さんの驚見さん(文友堂)だのがいたときの話をすると、「おまえは年を隠している。もっと年寄りじゃないか」と言うけど、そうじゃないんですよ。私は一〇代で親父の代理でしたから。



斎藤 顧問

司会 昭和五年、戸田直秀さん(細川活版の社長)が支部長をおやりになっているところに、支部監事という形で、八区の理事として先川さんが出ておられますね。

その後、これは先ほどお話が出ました昭和十年の代議員の選挙で先川さんが十六票をおとりになっております。

伊坂 これは昭和十年でしょ。このと

きは大騒ぎしたらしいんだ。

中村 票をもらって歩いたんだから、大変な話ですよ。ほくも、お願いしますと、ずいぶん歩きましたよ。

司会 昭和十年の二月二十五日に各区の代議員七十名の改選が行われ、それぞれ選挙運動をされて、非常に大激戦だったということでございます。

そのあとに大橋光吉組長(共同印刷)の選任がおこなわれたときに、組合に連名で建議されておりますね。その中に賛成者として先川さんのお名前も出ておりますね。

伊坂 京橋の組合関係としては、パイオニアではなくて中堅です。あの時分には浜田さんなんかがいるからね。

司会 昭和十年に土屋玉葉さん(玉葉堂)が支部長になられたところに、拡張委員として先川さんが名を連ねておられますね。幹事三十九名が推薦されたときに、荻野さん、先川さんのお名前が出ております。

小宮山 いまのいろんなお話を伺ってみますと、先川さんは、最近の現役の中では一番お古い方ということになりますね。

同時に、その時分の業界の役員の方々のあり方ですが、その時分は、意欲をもって投票を勧誘しながら率先垂範お出になるというので、業界役員になるのはただ漫然とではなくて、業界の発展のために先駆けてご苦心があったということが

# 山桜製品



## 株式会社 山桜

本社 東京都中央区築地3-2-9  
電話 542-8511 (大代)  
工場 東京都昭島市大神町1046番地  
支店 神田・中野・五反田・浅草・板橋・亀有  
墨田・蒲田・横浜・千葉・大阪

# 47のビジネス封筒 名刺・カード・はがき

- 営業品目
- 事務用和洋封筒
  - 名刺用紙
  - 私製はがき
  - 招待状カード
  - マド付封筒
  - ROM付封筒
  - DM用紙

## 株式会社 47 エニパック

- 本 社 東京都江東区永代1-2-1 電話(642)1141 (代表)
- 配達センター 東京都江東区永代1-1-7 電話(643)3237 (代表)
- 支 店 城南口727/4141 本郷口(643)7461 城西口(894)5151 浅草口(643)7851
- 橋本工場 橋本県下都賀郡野木町友沼 電話02805(5)2100 (代表)

偲ばれますね。

### 印刷料金問題の今昔 荻野式計算尺の開発

**司会** 先日の第二次構造改善説明会をやっておりますも料金問題が出てくるのですが、昭和十三年に料金算定の批判論ということで、印刷料金調査審議委員会の委員の中にも先川さんがお名前を連ねておられますね。

**中村** その当時でも、それから三十年、四十年たっても、印刷業界の問題は同じですね。あの時分、先輩が苦勞していたことと同じように印刷界にはどうも同一な苦勞が長いこと続いている、特に料金問題については。

**司会** 料金問題については、荻野さんも相当ご活躍になっておりますね。

**斎藤** 幾らか前のときは、料金が安いとか高いとかと漠然としていました。通し幾らぐらいい出ていましたけど。

活版関係では、組版を一頁幾らなんていう頁物は出ましたけれども、あとは余りはつきりしたものは出ておりません。数字的に出たというのは、昭和三十年代の調整組合ができるときからじゃないでしょうか。版の料金でも手数でいこうとかということ、この版は何手使っているというような式のもので決めたのは調整料金のときで、先川さんから先になつて、荻野さんあたりのお骨折りではないかと思えます。

それで、普通の計算尺を印刷にやりいように直して、こしらえたらどうかというので、「荻野式」という印刷の計算尺をつくった。調整料金の説明会に荻野さんのお供をして私も日本じゅう歩きました。

それで、協組の十周年記念に「荻野式」の料金の計算尺をおつくりになられたということで、たしか共立講堂で表彰されております。あのときは高橋与作さんと伊坂さんと小林光次さん(明石印刷)が印刷功労賞で表彰されております。

それで、私と森さんと、昔の二階建ての印刷会館で、夜遅くまで調整料金のスライドを撮ったのです。そのスライドをつくった功労賞だというので、やはりその日に、森さんと私は銀杯と賞状をいただいた覚えがあります。



花 崎 顧 問

その調整料金を大阪へ持っていきまして説明をしたら非常な反発が出ました。

調整料金は関西方面と東京とで意見が合わない。ということは材料の食い違い。むしろ規格を決めた方が二割五分ぐらい手数料が少ないということで、荻野さんが非常に苦勞されました。

たしか三十四年に表彰をもらったのだから、その前ぐらいです。

**司会** そうすると、花崎さんが支部長をおやりになったところではございませんか。

**花崎** 私が支部長をやっているときに調整組合の第一期が始まったときですね。本部の常務理事と兼任でした。

**司会** そのころ荻野さんは支部の監査をおやりになっておった。

**花崎** 支部では監査、調整組合では事務用印刷の価格の委員で、荻野さんが中心になってやっていました。調整料金の中で認可になったのは、事務用印刷の料金だけでしょう。平版も頁物も許可まで至らず、事務用印刷一本だけが調整価格として認可になりましたね。

**司会** 向さん(北支部・杏林舎)が本部の理事長をおやりになっておって、料金問題で大阪と大変もめたわけですね。

**斎藤** ちょうど花崎さんが支部長のときに、荻野さんと私が監査でした。それから調整料金が盛んになって、ほうぼうで集まりをした。そのころ築地のうなぎ屋さんの三楽なんかをよく使いました。

たしか治作でやった支部の総会で向さんに感謝の意をささげようというので金杯を送ったことがあります。それで、向さんから逆に、区長以上の人が目黒の八芳園に呼ばれて、その送った金杯でお酒を一杯ずつ飲ませていただいたことがあります。

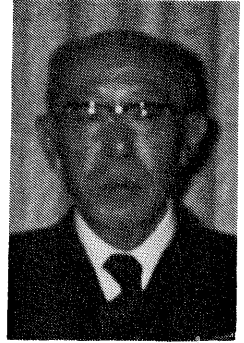
## 対話へのかけ橋

1枚の封筒にも  
大きな使命が  
かせられています。



# 山口封筒

本社 〒104 東京都中央区八丁堀2-2-7 電話(551)1151代  
工場 〒132 東京都江戸川区西端江4-21 電話(652)7721代



伊 坂 顧 問

そのくらい本部の向さんとしても苦勞した調整問題について、京橋支部が非常に協力してくれたということで感謝されたような覚えがあります。

そのころ、地方で講演を頼まれて、私は荻野さんのお供をして歩きました。調整料金の説明と技術関係の説明ということで、調整料金の説明を荻野さんがやりまして、活版関係の技術を私がやりました。

地方へ行くと、校長と教頭がやってきたとかいってからかわれました。(笑)

司会 そのころ支部長さんは、ご苦労が多かったと承っておりますが。

齋藤 あの時分の支部長さんは、専従がいなくて、花崎さんのときには石原さん(大東印工芸・総務)にずいぶんお世話になりましたね。

花崎 専従者がおりませんで、当時は、支部で何か新しい企画をつくるよりも、調整組合を軌道にのっけるときですから。

それで、支部の新しい事業をするいゝまがとてありませんでした。それに週一回の常任理事会、その間に各部会がご

さいますから、私はほとんど会社の業務から離れていました。支部事務局もありませんし、私が全部一手にしよい込むわけですから。

結局、この料金というものは事務用印刷料金にしろられたわけですから、全東京は京橋でつくったということになりましょうね。それで全国を回った。

齋藤 全国を回ったから、日本じゅうの調整料金は京橋でつくった。その主体は荻野さんがおやりになった。

花崎さんが本部で料金表というのを初めてこしらえてみましたね。

### 時間当り料金表の作成

#### はじめて原価計算の導入

花崎 認可にはなりませんでしたがけれども、原価計算の算出方法とか、それなりの料金表を各部門とも発表しました。

戦後は初めてでしたね。各社にほぼ共通できるだろうという標準的業態を想定してつくった最初のものでした。

齋藤 時間当り単価というので花崎さんはお出しになった。

昭和四十一年ごろこしらえた第二回目の料金表というのは、荻野さんのこしらえた調整料金で計算すること。それから花崎さんのおやりになった時間の単位で計算する。それは、現実には技能二級程度の人に端物を二十五版ぐらい組んでもらいまして、実際にかかった時間をはかったのです、けれど、これは、親父さん

だの周りに人が来て時計を持って見ているから、オリンピック記録みたいなもので、それより二割ぐらい低目のものをつかった。あとは二十七つぐらい組んだものをゲラ刷りし、委員の人全部に見積りを幾らにしますかという市場価格を調査した。その平均価格で料金をつくりました。

地方へ荻野さんが行くと、料金の荻野式が来たというわけで、地方の方には喜ばれました。

司会 現在も料金問題は、公取の独占禁止法にひつかかるということで、避けて通っているのが現状だと思うのですが、そのことについて何かご意見がございませぬでしょうか。

花崎 調整価格は日本で初めてじゃないでしょうか。業界価格が法律的に独占禁止法とは別に特認されたということですね。

司会 大手が仕事を独占するというような場合には相当問題になるでしょうけれども、われわれ中小零細が料金問題に取り組むということについて、組合も今後ひとつ研究課題にしたらよろしいんじゃないかと思うのですが、いかがでしょうか。

花崎 正式な協定ということでは認められないですね。お互いが自分の社の原価計算を勉強して、これ以下の値段でとったのでは全然引き合わないんだと、こういう原価計算意識の普及、それは今

ここに鮮やかな一枚  
ノーカーボン紙  
レジシ CCP

十條製紙

〒100 東京都千代田区有楽町1-12-1(新有楽町ビル)  
TEL. 東京(03)211-7311

日本を代表するインキ

TOYO KING  
ULTRA70

東洋インキ

日でも大事なことなんです。

**司会** 中堅以上のところでは、近ごろコンピューターなども導入されて、非常に管理が行き届いておりますけれども、小零細においてはそれがちよつとできないので、何かアドバイスをしていただける面はございませんでしょうか。

**花崎** 現在の程度原価意識が普及したかどうかは、私も最近の実態はわかりません。

**齋藤** 調整料金にしても地方へ行く、東京で出したのは大変結構でよくわかるけれども、これは次から次に仕事がある都雲みたいなどころの話で、地方ではこんなに続いて仕事がない。だから、この計算でやると非常に高いものになる。

ですから、各社毎に基準をつくって、それを検討して一体どこが悪いのかをお考え頂いている。それでも何かずばりというのが欲しいと思ひまして、昭和四十一年に本部の常務理事に出たときに、商業印刷委員会の委員長だったので、年賀状価格だけでも決めてしまえば効果があるだろうから、やってみようじゃないかというのでやりまして、値段もずばり決めたわけです。そうしましたら、三越の本店なんかへ行ったら、大きく「本年度の値段はこれに決まりました」と書いてある。年賀状が終わって、一月になって公取との間に問題が出ました。皆さんのところで金看的な料金表が

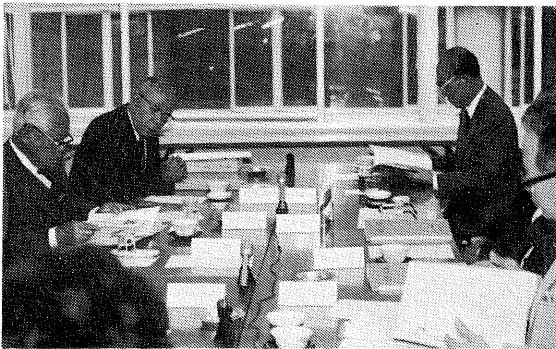
欲しいということでしたから、荻野さん

ともお話しいたしました。支部でこしらえたんです。ところが、各支部毎でこしらえたから、通り一つ越えてほかの支部になると値段が違うのですね。だから、同じものが支部が違つて原価が違うのはおかしいと言つた委員会の議事録なんかは、公取ですぐ押さえられました。この委員長の発言は公取法違反だということ……。

**花崎** それほど料金の問題で組合での協定じみたことは、中小企業の社会でもやかましいのですね。

**司会** その当時、荻野さんのご活躍になった様子もよくわかりますね。

**齋藤** 荻野さんのつくつたのはあれは



「京橋の印刷史」などの資料をみながら

正式に認可になりました。手数で計算して、自分のところは一手幾らという計算でやりなさいと。その一手幾ら、甲は一円五十銭、乙は一円六十銭だったら、乙はどう違うのか大いに研究してみなさい、一円五十銭にしないと世間と競争できません、こういうような説明の仕方

で荻野さんはやられていました。

**花崎** 印刷料金についてですが、ヨーロッパ、アメリカ、日本を含めまして、昭和三十五年現在でこういうことが認められていた国はスイスだけなんです。さすがは中小企業の国ですね。あすこだけは印刷界にも協定価格が認められているのです。大したものですね。それに違反する人はごくまれだそうですね。さすがです、中小企業者がちゃんと生活できるようになっている。

**齋藤** 私、オスワルドの世界印刷文化史に出ていることを料金はなしというので、たしか「京橋の印刷」の三号に記事を書いたことがあります。それを荻野さんにもお話しして、外国でもこういう例があった、しかし、商取引を拘束するということでアメリカの法律に抵触するから解散を命じられたと。その場合は、料金を安くすると、えらく高い罰金をとられたんですね。アメリカでもカナダでもそういう経過があった。

しかも、それをかなり長い間やって、原価計算方式としてアメリカではずいぶんと定着したんだそうですね……。

洋紙・板紙

北越ファイバー・パスコ

株式会社

共和洋紙店

東京都中央区京橋1-4-3

TEL (273) 5771 (代)

東洋インキ製造 } 特約店  
大日本インキ化学工業

平版印刷用諸材料一式販売

(有) 湯川商店

東京都江東区扇橋1-5-2

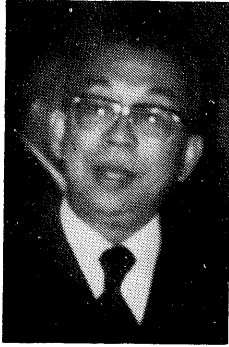
電話東京 03 (644) 8518

(647) 7581

料金というのは荻野さんも大分ご苦労なすって、結局、できるだけ工程を簡略化しなやまいかんということで、森さんどうですか。

森 先ほどの話に戻りますけれども、調整価格の価格表というのはちよほどポケット版で小さかったのです。その解説はもう一つ別冊で出ていました。そのときに初めて花崎さんの時間計算に入りました。

それからまた、荻野さんも先川さんも大体活版出身なんですね。ですから、活字ということにもものすごく関心が深かったと思うのです。当然、活字の組版の中に罫版物が入ってくる。いまだつたら版下作成機や製図ペンで簡単に罫を引いてオフ化してしまうものが、要するに表罫を使ったり裏罫を使ったりすることで、間に込物を入れていく。その込物の手間の問題が出てくるわけですね。



森 参 与

たとえば同じ単位の中に線が何本入っている、その線の間隔が五号四分トタンだとか、或るいは五号二分だとかいうことで価格の基準が違っていたわけですね。十平方センチメートルの中に縦横に罫が

何本あるかということ、要するに端物罫版物の料金の基礎をそこで初めてつくられたのは荻野さんだと思っておりますね。

### 活字の発祥と由来 東京では新六は総スカン

花崎 それと、中村さんの(印刷産業協組)活字組合で、どこよりも率先して新六号を採用したわけですね。非常に珍しいケースですね。それとの関連はどうなんですか、齋藤さん……。あれはポイントからですか。

齋藤 いや、新六というのはポイントじゃないんですよ。昔の六号というのが八ポなんです。五号は一〇・五ポイントになっているわけです。

じゃ、日本の活字というのは初めからポイントかという、決してそうじゃなかったんですね。昔の本木さん(我が国鉛活字鑄造の創始者)とは関係ありませんけれども、野村さん(東京築地活版製造所)、曲田さん(同上)の時から築地活版で技師でずうっとやられた上原竜三郎さんという人に聞いたら、その人は、ちょうど戦争直後ぐらいに、いまの東劇の前で清水という小料理屋をやっています、おれはもう活字には縁がない、興味がない、今度の戦争の終りと同時に全部忘れちゃったと、こういうような話でしたが、私の先輩の猪塚先生に飲ってもらいまして、猪塚先生と盛んに飲

んでいるうちにすっかり話ができた。

その人が話してくれたのには、日本にある号数という和文の活字は、全部上海あたりから持ってきたタネで、当時ポイントができる前に世界じゅうにかなり知れわたっていたイングリッシュとかパイク、ブレイアという昔のものがそっくり来ていたと言っていました。それを野村さんが、ポイントというのがアメリカで出たから、うちの活字もポイントにならないかといって話をした。

幸い六号はほとんど八ポと変わりがなかったけれども、五号はちょっと小さいので一〇・五ポにして、三年ぐらい鑄型をあけていったら、大阪あたりへ売ったものから、活字の角が張ったという文句がたくさん来たそうです。だけど、それはおたくのがやせたんだとごまかして、三年ぐらいかかって五号を一〇・五ポにしたので野村宗十郎(東京築地活版製造所)という人は、将来はポイントにしようという考えであった、というようなことを言いました。

ですから、いまの新六号というのは八ポじゃなくて、七・八五ポぐらい。結局、真物の業者さんからは総スカンを食ったわけですね。

そのころは活字は新六というのは余り売らなかつたですよ。六号を売っていました。六号というのはちょっと字づらが小さい。八ポになると同じ角の中でもちよっと大きいから、それで六号と八ポと



業界の  
トップレベルを行く

宏和樹脂工業株式会社

東京都板橋区蓮沼町51-2  
TEL 965-2711 代表

生活には  
ずみ

無担保・無保証人  
文信フリーローン

上手な住居づくりに  
文信マイホームローン

文化産業信用組合 | 京橋支店

東京都中央区八丁堀4-13-1 ☎551-9625(代) 104



分けて売ってしまいました。ですけど、大阪の方は全部新六でございました。

花崎 結局、端物を組む場合、五号関係の込物とうまくマッチするということですね。

齋藤 新六号の四倍と五号三倍が合うわけですね。ですから端物を組むのは、関西の方では手数がいらぬというんです。こんなに手を食わないと。東京の場合ですと、間に小さなトタンだとかレッチだとか、四分だ、八分だとかというものをいろいろ入れて組むので、それで問題があったのですけれども、それにしても端物なんかをいま森さんがお話のように、野幅によって、何行入っているのは幾らというふうなぐあい、みんな一つ一つ値段が違うのですよね。それを一タ物さしを当てるのは大変だからというので、荻野さんが計算尺をつくって、それではかれば料金もすぐ出るといいます。

花崎 荻野さんは、五号とうまくマッチする新六という点に着眼したわけではないのですか。独自のものですか。将来、新しいタイプの活字を採用する場合には、新六を前提としているのですか。

齋藤 当時としては、活字の規格委員会では新六を前提としてやらせようとかあったのですけど、いま言ったように問題が出てきましたね。当時、アメリカカンポイント式は世界的に知れわたっておりまして、果たしてどっちにした方がいい

かというのは、あとでは問題になりました。

### メートル法規格活字

#### JISは高さのみ

司会 それでは活字にはミリ規格とポイント規格があるわけですか。

齋藤 ミリというのは、戦前に産業合理化なんていうことが叫ばれたときに、たしか昭和九年ぐらいに築地活版ではメートル活字をこしらえたんです。それで新聞社に先に活字を売り込みまして、メートルが日本の国の単位になったのだから、将来は、活字もメートル法になるといっているので、当時の印刷雑誌にページ広告した程です。

司会 JIS規格というのは……。

齋藤 ところが、両方ともJIS規格になりました。荻野さんもJIS規格のときに活字組合と一緒にやってやったけど、JIS規格になったら呼称はポイントということになっちゃったんですね。森 たしか活字の高さだけで角についてはJISがないんですね。

司会 料金問題、活字の規格問題とわたりましたが、初代の高橋さんは特別で、除きまして二期支部長を務めたのは荻野さんだけでございませぬ。その折にたまたま第一次構造改善事業にかかわれたと思います。その当時、伊坂さんも

齋藤さんも、この構造改善問題にかかわられたと思いますが、その当時の荻野さんに関して何かございましたらば、ひとつお願いしたいと思います。

齋藤 伊坂さんが本部の副理事長をおやりになったところにやったのが、第一次構造改善じゃないですか。

昭和四十六年に通産大臣から認可がおりまして……。

伊坂 そのときは井上さん(現参議院議員)と塚田さん(錦明印刷・日本印刷技術協会)がやってたときですね。



中村 顧問

齋藤 井上さんは対外的な通産あたり折衝が主でございました。あのとき総務班というのができてまして、塚田君が主体になりました。毎晩夜十時ごろまで、一週間に二度か三度集まってやって一応試案をこしらえたんです。一年ぐらいかかりました。最終的に一番問題になったのは適正生産規模でした。適正生産規模について私も荻野さんところに何回も伺いに行きました。

それである数字をできるだけ誰でも参加のできるようにしたいと云うことで、その初めの基準では組合員の七五〇の小

## 写植のことなら何でも……

- 各種写真植字機
- 写真植字文字盤
- オペレーターの養成<写植スクール>
- 版下マンの養成<フィニッシュワークスクール>

### プロセス資材株式会社

本社 東京都中央区銀座7丁目10番5号 千104  
TEL 03-572-8071代  
大阪/名古屋/札幌/仙台/京都/広島/福岡

### 株式会社 モリサワ

東京支店 東京都新宿区下宮比町15-5 千162 ☎03-267-1231

企業はつきませんというこで。

それで、多色と頁物と端物とでいわゆる機械の通し枚数で適正生産規模を決めました。荻野さんも、それならよろしいというので、荻野さんは表面には出ておりませんけれども、われれも一番手軽に夜でも行つて何うのにいいので……。

司会 当時、適正生産規模を設定するに当たつて、荻野さんの功績があつたのですね。ちょうど石沢さんが見えなつたので休憩いたしました。

### ハードからソフトへ

#### 先川、荻野両氏のお人柄は

司会 石沢さん、今までは、技術面の固い話して先川さんのお人柄などを……。

石沢 私が組合に入りまして、八丁堀地区の例会で先川さんにお目にかつたのが初めてなので戦後なんです。皆さんから、京橋支部の実力ある方と、聞きしておつたのです。体躯堂々としていて、初めて会つたときは、近づきたいなというような感じで小さくなっておりました。

組合に出るようになっていろいろお話すると、なかなかどうして洒落な面もあるし、めんどうをみてくれた。そういう点で、八丁堀地区が京橋支部でもまともりがよくて実力がある区だと云うのは、やっぱり先川さんなどが例会に常時出てきてくれて力添えしてくれたと、こういうぐあいに思うのですよ。

私が支部長になつたとき、先川さん大先輩ですから、あいさつに行つたのですよ。そのとき、「組合というのは組合員の和と協調がなければ事業はできないんだよ。私もバックアップするから、しっかりおやりなさい」と言われたことが、私、いまだに印象に残っていますね。大変お世話になりました。

もう一つの思い出は、きょう白橋さんはいないのですけれども、この支部の事務所を設けて便利に使つて皆さん助かつているのは、白橋さんが支部長のときにおやりになつたのです。そのときに私は副支部長をやつて会計をあずかつていたのですが、敷金などで四百万ぐらい資金が必要になつた。その費用をどうするかというところで執行部で検討して、各地区に特別の割り当てを会費としていただく。それはどう割り当てるかということで、各社従業員数となつたのです。

それで、顧問、相談役の役員会を築地警察署の前の旅館でやった。そこで設備指数で割り当てるのか、いろいろ論議が出た。そのときに、先川さんが、それは執行部の案でいっただらうだと、こう発言をなすつて、それで大体まとまつたように記憶しているのですがね。

その割り当ての説明をしたのは私です。議論が沸騰して立ち往生しちゃつたのですよ。それで覚えていてるんですけどね。そういう点、スジを通す人であつたなという感じですね。

それから、晩年になつてから足が不自由なのに役員会に必ず出られたということは、皆さんの顔も拝見したいのと責任感と、やっぱり業界を愛するということ気が強かつたのだと思つて、その点は感激しています。

そういうことで、個人的に飲み食ひしたとか、というつき合ひは残念ながらなかつたのですよ。だけれども、あの方は謡曲が上手でした。新年会とか結婚式にうたつてくださったのをよく覚えております。

中村 聞かされたと言いなさいよ。(笑)

私は先川さんとは大分年が違ひまして子供みたいなものですから……。印刷新聞の旅行会が今までに何回かあつたの



石沢氏が見えたので一息いれて

です。そのころ先川さんご夫妻と北海道へ数日お供したことがあります。年輩にしては、なかなか女房をいたわつて、われわれ若い者は、これでいいのかしらんと思つてもありません。

あの方は中村徳三さんと同級でした。いずれにしても、われわれとは年代が違ふので教えられたことはずいぶんございまして。亡くなりましたことを非常に残念に思つております。

#### 先川さんは印刷人の鑑

##### 人生経験豊かな教訓を

司会 小山さんはお仕事で先川さんとの付き合いについて……。

小山 私も営業でしたから、東京都庁での仕事を……。先川さんは私ども印刷人の鑑といえます。先川さんは私ども印刷の営業の勉強は先川さんにさせていた。いろいろ教えられました。

先川さんに伺つたお話で一番思い出に残っているのは、戦時中夏の暑い盛りに船のかま焚きをやられたそうです。とにかく体の水質が全部出るんだ、そういふ中で生きてきたとか、仕事もそうですけれども、そのほかの人生経験についてもいろいろ教わつたつもりでおります。

私は当時、会社創立早々でしたし、もちろん組合にも入つておりませんし、あんな偉い人であつたことは、あとで組合に入りまして、改めてこういう組

合の会合の席で再認識をしたり、また、それから尊敬の念も深まったということなんです。

思い出は、仕事につながる。取った、取られたというところまでのぎりぎりの線のおつき合いもいたしました。そういうことで大分おしかりを受けたりもしましたけれども、先川さんのところの営業の八木さんとか、身近な方とお会いするときは、いつも思い出と尽させぬ追悼といえますか、そういう気持ちでいろいろ話をしております。きょうも感慨を新たに出席させていただいています。

司会 荻野さんにつきましては、特にお親しかった齋藤さんからお人柄などをお願いいたします。

齋藤 組合で初めて荻野さんとお会いしたのは昭和二十九年ごろからです。親子ぐらい年が違いますから、何のかんのでいろいろとお世話になりました。

ぼくが組合の役員に出たときには、相手の監査の人が荻野さんだったのでびっくりしました。新川の区長さんもやっていらつしやるし、当時、活版関係では荻野さんというのは、腕のいいので評判でしたからとてもそんな……、と思いましたがけれども、その当時は相談する方もなかったですから、正進社の高橋さんのところへ行つて「私、こういうことで監査を荻野さんと一緒にやれというんだけど、いかがでしたものでございませう」と言ったら、「おまえね、やりたい

と言つてもなかなかやらせてもらえないのだから、人がやらせてくれるというときは勉強するのですよ」と言われました。それで荻野さんのところへ伺つて「よろしくお願いします」とごあいさつをして、それからお受けすることに話を決めたわけです。それから本当によくめんどろをみていただいた。

それで、荻野さんは印刷だけかと思つたのですが、川柳長屋連の差配さんで、たしかここの印刷会館の七階で、川柳文化賞をもらっているくらいですから、川柳はかけ離れています。それ以外でも、ふだん黙つていらつしやるけど、なかなかあらゆる面でお達者でありましたね。



小山 副支部長

私、お休みの日なんかにお伺いすると、「おまえ、今日どこへ行くんだ」と言うから「いや、銀座へでもちょっと行ってみようと思つている」と言ったら、「それじゃ、おれと一緒に上野へこい」と言うのです。荻野さんは絵がお好きなので、美術館で絵の説明をしてくれるのですが、私はどうも絵の素養が余りないので、荻野さんから大分いろいろ教わり

ました。

それから三社さまのときなんかは、そのあと浅草へ行こうと。下町へ行くと、いろんなお話をしてくださいましてね。特にここ三、四年、三社さまに三度ぐらい行きました。あの方は、歩いていても必ず昔の話をいろいろしてくださいませ。浅草へ行つても、ずいぶん奥の方まで行つて、昔はここにこういう好いところがあつたんだという話なんかいろいろ聞かせてくださった。

酒脱なところがあつたということと、人生経験が長いということ、いろいろなことをやっていらつしやつて、私は本当に感服いたしました。

組合の仕事で地方回りをいたしますと、非常に気を遣つてくれました。荻野さん、印刷情報の山崎さんあたりにはよく指導を受けました。齋藤さんの話ばかり過ぎるから、聞いている方があくびでも出るようだったら、そこでひと思いにくだけた話をしなさいというアドバイスも良くしてくださいました。長いこと世の中をわたり、特に明治生まれの人は、ちょっと私たちの知らない経験をしてきたということですね。

あとは、森さん、石沢さんと、たまに夜の食事をしようじゃないかという話でこれは森さんにずいぶんお世話になつたので、その話でもしていただきたいのですが……。

### 召し上がらなくとも

#### 酒席のお上手な荻野さん

森 齋藤さんからお話がありまして、荻野さんと齋藤さんと石沢さんと私の四人で、うまいものを食べ歩こうと云うことと。支部の臨時総会が一月にありますと、その帰りはどこかを回る。たとえば小田原へ行つたらカシマタでうなぎを食べるとか、鎌倉の料理屋を回るとか、あるいは赤坂だとか、ほうぼうへ行つたわけです。

ところが、齋藤さんも荻野さんもご酒を召し上がらないんですね。それを代表してくださいるのが石沢さんで、私がちょっとということ、中村さんみたいにお水がわりにお飲みにならないんです。それでもお話が非常にお上手で……。

私たち、川柳の長屋(同人誌)が出るたびに送つていただきました。この間、たまたま病院へ入つていらつしやるたびに、齋藤さんと二人でお見舞いに行つたのですが、そのとき「長屋の差配さんがいらつしやらないと、店子の家賃がたまつちやいますよ。早く戻つていらつしやい」と申し上げたいのですが、そのままお戻りにならなかつたんです。

一面、技術的な面では非常に職人的な要素が強いし、それから新しいものがお好きで、ハイデルの印刷機械をお入れになつたのも、オフセットの機械をお入れになつたのも、すすんでいち早くお入れ

になる。

娘さんも二人おられたのですけれども、息子さんが三人おられて、とにかく親父さんが財布を握っているというわけです。親父は会計係だということで、資金面は荻野さんがお亡くなりになるまで見て、それによって息子さんたちが会社運営をやっておられた。本当に仲睦いご家族ご一家だったわけです。



印刷会館講堂で川柳句会で講演する荻野氏

荻野さんからは、いま組合はこうなっているんだよというお話もときどき伺いましたし、私はこう思うんだよという荻野さん個人のご意見もしばしば伺っていました。それが正論として成り立っていたところに荻野さんの組合の外にいなながらも組合のことを心配しているというところが、私たちはよくわかったわけ

す。

川柳のご本をいただいた中で、川上三太郎さん(荻野さんと川柳の句友)が序文を書いた次の号が出たときに三太郎さんがお亡くなりになって、荻野さんが先生を偲んで書いた文章があるのですが、それがそのまま荻野さんが亡くなられたことに当てはまるような気がするのです。そういうお人柄でした。

司会 花崎さんは調整料金などで一緒にご苦労なされたと思うのですが、お人柄などについて……。

花崎 私は調整料金のときが一番関係が深かったのですが、原価計算も理解しまた組版上の手数、技術的な面もわかっはなかなか少ないようでございます。ですから、先ほど申し上げたように、自然と東京を代表して、荻野さんが一手にこれを処理していくというところが生まれたのでございましょう。

これはなかなか大変な仕事でして、業態の差もありますし、いろいろな習慣その他も違っておりますし、そこに調整料金という一つのものを出すということは大変なことでもございました。

これは何とんでも大したものですね。東京でそこへしぼられていってしまったのですから。ああいう年代の方で、しかも実務出身の方で相当細かいことを理解する珍しい方ですね。

支部長時代には、先ほど申し上げたと

おり、あの年代は、本当に各委員長になった方も大変です。組合業務を全部持って帰ってやらなきゃならないんですから。委員長になった方はそっくり引き受けて自分とこでやる。

そういう意味から、荻野さんがやったことも大変だと思います。それにしても東京を代表する唯一のものとして、最後には料金の認可までとったわけですから。功労者として表彰されましたね。平版の方も買物の方も、みんな同じように努力はしたのですけれども、これは実を結ばず、事務用の価格だけが認可になった。

### 教育事業の技能検定は

#### 荻野・斎藤・森氏の功績

斎藤 荻野さんは四十一年に本部の常務理事として……。技能検定の方を受け持っていたいただきました。当時まだ受験者の層が多うございまして、荻野さんにはえらいご迷惑をかけました。委員会でもかなりいろいろ気を配っていたいただきました。

部外からの検定の委員の人なんかにはお世話になっていたので荻野さんがご自分の費用で慰労していただいたりしました。そんなぐあいだ、検定関係でもずいぶんお骨折りをいただきました。それと同時に、荻野さんがおやりになったところが一番、技能検定が華やかでした。

石沢 それと、現在の教育事業である

技能検定の実施に努力したのは、荻野さんであり、斎藤さんであり、中村謹吾さん森さんですね。

私が荻野さんに出会ったのは計算尺のときなんです。そのとき、私が八丁堀地区で幹事なんかをやっていた、その説明会に行った。学者的なところがあって、学究的に朴訥として話すのだが、それが魅力であった。よく聞いていると理論的なんだね。そういう点は偉いなと思いました。

それから、さつき森さんから話が出ましたが、私も本部の常任委員会に出るようになって会う機会が多くなり、月に一回会食したわけです。これは私にとってよかったです。お三人とも余りお酒飲まないの。私は飲んでいい気嫌でも割り勘ですからね。

しかも、荻野さんは話題が豊富で、飲む人の気もそらさないのです。その点は偉いと思いました。また、博学で、特に歴史に詳しいのです。

「石沢さん、江戸城はだれが築いたんだ」と聞かれたので、「太田道灌じゃないかな」と言ったら、「いや、それは違うんだ。もつと前の人が築いてんだ」というわけなんだ。秩父次郎重綱の子供で、江戸に住まって、江戸太郎と名のつて、その人が永久二年に初めて城を建てたんだ、これが江戸に建てた初めだというわけなんだね。そのあとがまたいいんだ。「江戸」という地名はどこから出たか

知っているか」と聞かれて、「さあ、そんなむずかしいことわかんないな」と言ったら、これは江戸太郎がつけたわけじゃない、その前にも江戸というのがあった、エドというのはいヌ語で鼻だ、海岸に出ている鼻のようなのでエド（江戸）になったんだ、これが本当らしいと言うので驚いたことがあるんだね。

それから、斎藤さんと三人で組合の仕事で地方へ行くと、汽車の中がまたおもしろいんだね。地名、豪族の名前、その栄枯盛衰を話してくれるわけだ。だから時間のたつのが早い。また、地方へ行くと必ず史跡を尋ねる。そういう珍しいものとか古いものを見ることがあの人の頭の鍛練であったのじゃないかと思いません。

私が困ったことがあるんです。四国の金毘羅さんへ行ったら、あの長い階段を歩くのが早いので、ついていくのが大変なんです。これには困りました。本当に丈夫でした。

四人で食事に行っても、歩くのが早いなだね。これだけは困りました。  
斎藤 本当に荻野さんは足がお丈夫でした。

### 荻野さんは組合における

#### 伊坂さんの初代親父さん

司会 なかなかお話しも尽きないようですけれど、伊坂さん、ひとつまとめるような意味でお話をちようだいしたいと思

います。

伊坂 荻野さんと私はちようど六十年ぐらいのおつき合いで、私は、組合の方では親父を三人持っている。最初の親父は荻野さんだったのです。色々ご指導を願っております。たしか私が組合の方を休んだ三十年から、四十年ぐらいまでに荻野さんは大いに活躍なすったんです。

さつき協定料金とは、戦争中にマル公（公定価格）というのをつくったことがあった。そのときは、最高価格を決めて、それを突破しちゃいけないというのですから、わりあいやりよかったです。で、うち上げました。端物の組版の方が経営者になって組合の役員に出ているというのはわりあいに少ない。八割ぐらいが営業出じゃありませんか。

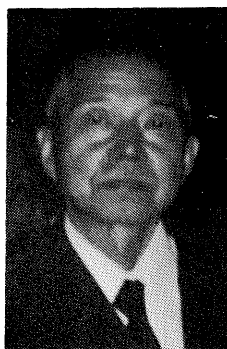
ですから、私自身もそうだけれども、端物の組版の細かいことになると、わけがわからないのですよ。縦に区形を入れるんだか、横に入れるんだか、区形をいじくったことがないんだから。それが料金問題に取り組んだことがありました。

花崎 その当時、理論的な面は伊坂さんが中心になっておやりですか。

あれは原価計算方式が頭に入ってたからでできません。

伊坂 戦争中にマル公料金のときがあった、印刷は千差万別だからつくれないと言った。そしたら茶わんがマル公が

きている。おまえたちがやらなかったら軍の方でやるというわけね。軍の方でやられたって出来やしないけど、へたに決められちゃうと困るから、それで、一寸の中に幾手だろうということね。それで平均で割るよりしょうがない。一寸の中に何行だから、全角二分四分だとかなんとかいうことをやりました。



良き先輩の思いに

それは、市場価格みたいなものでうち上げていったんです。一時間とか、分とかいうものではなかった。

花崎 調整価格の原価計算は基本的な知識がない方でも、最初の五、六行を見れば、こうやって出すのかと解るんですが、自分の発案か、伊坂方式かわからんですが……。大阪やほかの府県のは、四〇ページなり五〇ページなり全部読まないと解らないのです。

伊坂 それは花崎さんのですよ。

石沢 荻野さんは美声の持ち主で、磯節が本当にお上手だったですね。常任委員会であつたのは一回ぐらいかもしれなけれど、みんな驚いたです。私のふるさととは茨城ですが、それで磯節を歌うのはやめました。(笑)

斎藤 荻野さんは、古地図をたくさんお持ちなんです。「京橋の印刷史」の見返しの現在の地図と昔の地図の発案も荻野さんです。

実は、伊坂さんが理事長さんになるちよつと前、東西大会があつて鳥羽に行つたのです。そのとき汽車の中でこういう話をしたので。京橋もこんなことではしょうがない、一番いいチャンスだから、ここで伊坂さんに本部へ出てもらわなければ話にならない、その前にひとつ支部でデモンストレーションをやるうじやないかという話になったわけです。

そのデモンストレーションは何をしたらしいかというので、たまたま組合結成五十年に近いから、五十年の記念のデモンストレーションをやつて、京橋支部員を集めるほかに、本部の役員を全部呼んで、ひとつ京橋の力をここで示そうじゃないかという話が荻野さんから出た。

それで、一日ぐらいの催じゃパッと終わっちゃうから記念誌を出そう。初めは、りつぱなものをつくるわけじゃなかったのです。もつと版の小さなもので、二五〇ページぐらいのものをつくらうという話になりました。荻野さんが「斎藤さん、書いてくれんか」と言うから、「いや、原稿はちよつとあつてあるから大丈夫だ」と。ただし、支部の予算にないし、非常に費用がかかるから、場合によれば組合員からいただくけど、なるべくなら五十周年記念だからそういうもの

をもらわないでやりたい、どうしよう、大体このくらいお金がかかるだろう。

それで、このお金を伊坂さんから出してもらおうというわけだ。その使者の役を荻野さんが私に仰せつけられましたので、伊坂さんのところへ行きまして、申しわけないけど、こういうことをやってみたいという話があるのですが、支部の方では予算を立てていないので、ひとつご迷惑でも伊坂さんに出していただけないでしょうかと言った。伊坂さんが「どのくらいかかるんだ」と言われますから「〇〇万円くらいかかります」と。たしか七十五万と申し上げたような気がいたします。伊坂さんは一、二分お考えになったけど、「結構です」と言われた。

ですけど、協賛をとることは初めから決まっていたんです。それで、伊坂さんにお願いはしているけれども、個人的に余り大きくご迷惑をかけるつもりはなかった。ただ、何か裏づけがないとできないからということで始めました。一時、こういうものだから協賛広告は入れちゃいかんというお話が出たのでそれで足踏みしちやうったわけです。それと、記念史の内容が大きくなっちゃった。

書きました牧さんは、実はその前に四〇〇字詰めで数百枚ぐらい書き上がっていた。牧さんから私に、「斎藤さん、おれ、もう年もとってきたし、目も緑内障で悪いから、あと書けなくなるけど、特に京橋支部のことは記事にしてある。こ

れを発行してくれる出版社を見つけられないか」と言われました。けど、こういうものは一般の出版社ではやってくれないので「書くだけは書いてください」と言った。実は、原稿がありますと言ったのは、牧さんが見せてくれたその原稿のことなんです。

それで、話が決まってから荻野さんと一緒に牧さんのところへ行って頼みましたら、牧さんが張り切ってくれて枚数が非常に多くなっちゃった。だから当初予定よりもよけいカネも時間もかかるし、そんなぐあいでも広告を入れちゃいかんなんてお話もいただいたので、少し予定違があっちゃって、荻野さんのときに発行できなかつたけど、大きなデモンストレーションにはなつたと思います。

伊坂 本当にいいものができましたね。ほかに類を見ない、京橋だけじゃなくて、印刷界の記念史とも云う立派なものになりました。



石沢 相談役

斎藤 石沢さんと荻野さんと私の三人で、デモンストレーションを話したことから出たんです。

### 国家褒章にあたいする生涯 京橋五十年史の歩みと共に

石沢 斎藤さんは、こういう資料を持っている。これを何かの機会に残しておくべきじゃなからうかということだ。荻野さんは、そういう点は黙々と考えているのです。これはなかなかできないことだと思うのですよ。陽の当たる場所に出るような性格じゃなくて、じみにやっついていく方なんです。印刷史上に残る人じゃなからうかと、つくづく思いますね。本当に自分の名誉とか地位、そういうものを考えずに道を一途に歩んできたということだけですね。検定委員としてずうっとやっついていらつしやう。こういう人は国家褒章を受けるべきだと思うわけです。

花崎 この世の中に、学術、芸術の両方に通じた人がまれにあるんです。荻野さんは学芸畑でしょうね。学術的なセンスも持っている。それからまた印刷技術といえば、工芸的なものももちろん身につけていますし、川柳なんという文芸的なものも身につけている。まさに学芸畑の人材ですよ。なろうと思えばりつぱな大学の教授にもなれたと思います。両方備えていた人ですね。

小宮山 お忙しいところありがとうございます。荻野・先川顧問殿の思い出はつきないのですが、お時間ですので、この辺で終了させて頂きます。

# 生産性の「拡大」に

# 「コニスーパージェン」がお応えします。

毎時1万枚の超高速菊全判オフセット印刷機 2・4・5色機



## 小森印刷機械株式会社

本社 東京都墨田区吾妻橋3丁目11番1号 〒130 東京都 (624)7161番(大代表)

# 荻野先輩を偲ぶ

伊坂一夫

荻野さん、永い間色々のご指導に預り有難うございました。

荻野さんは大正九年、越前堀で活版業を独立開業されて間もなく、関東大震災に遭遇し、いち早く復興されて、京橋七区の組合指導にご協力になりました。区長であった私の父を輔け、また七区組合員の羽田元治氏を区会議員に立て、見事当選の栄冠を獲得させたり、八区(八丁堀)と合同して七八会を組織して、その中心となって活躍されました。

昭和十三年十二月、東京活版印刷工業組合が創立されるに当って、京橋支部から川橋先輩が常務理事、高橋先輩が理事に当選され、私が監事となりましたが、これは全く荻野先輩のご推挙による、終生忘れ得ぬ処であります。私もやっと印刷組合学校一年生になりました。

戦時中、企業合同の時は七区には高令者が多かった為、荻野さんが中心となって希望者は全員合同して、家業を守ろうとしてご苦労を願いましたが、途中で被災の為、地区が全焼して実現には至りませんでした。

昭和二十六年、活字鑄造の共同事業として十二業者で印刷産業協同組合を設立して、表には立ちませんでした。長島五郎氏と共にその中心になりました。

昭和三十三年五月、衆望を担い京橋支部長、本部理事となられて昭和三十五年より八年間本部常務理事として活躍され、その間本部の合理化委員会を担当し、調整組合に代ってからも調整料金委員会が出来て東京・大阪の料金が合致しない為、向理事長と共に大阪に行って漸く統一料金を完成されました。

また活字の規格問題では計算尺を自ら製作し業界を指導して組合の表彰を受けられました。  
昭和四十四年の構造改善の時も新川地区に中央印刷センターを創立して写植製版の協同組合を作り、理事長として地区会員を適格業者としました。

昭和四十五年四月、再び京橋支部長に選出され、在任中に於いて京橋の印刷史を企画提唱して、B5八〇〇頁におよぶ、昭和十三年八月刊行の日本印刷大観の続編ともいべき印刷史を刊行し、

「京橋支部五十年の歩み」を胎す大黒柱となって編集に当られ、見事完成されました。

昭和四十八年四月、東印工組常任監事就任現在に至る(満六年余)其の間

東京都知事感謝状・労働局長・中央区自治功労者表彰

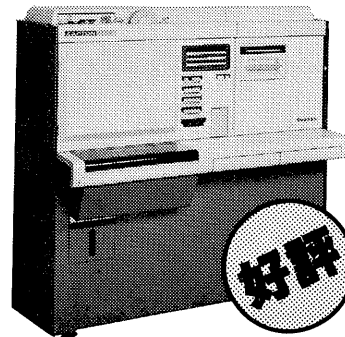
東京都中小企業連合会・全国中小企業団体中央会表彰

全日本印刷工業組合連合会・功労者表彰等数多の賞を受けられました。

以上のように六十年の永きに亘り、地区のため、京橋業界のため、東印工組のため、全印工連のために尽くされた功績は枚挙にいとまありません。

あなたは直接表面に出ることを好まず、常に内にあって参謀役も務められました。私はあなたのお近くにあつて日夜ご指導に預つて、もつと聞いておけばよかった、教えてもらつておきたかったの念で一杯です。あなたが最も尊敬した業界の大先輩鷺見知枝磨先生は九十才で他界されました。まだ十年は教えて頂けると思つておりました。痛恨の極みです。八十年の生涯を通じてよく業界のため町会のため、川柳のためお尽し下さいました。  
「虎は死して皮を残す 人は死して名を残す」と申します。貴兄のお名前は業界史に永遠に残ります。  
最後に、ご冥福をお祈りし、貴家皆様のご健勝と会社のご繁栄をお祈りして思ひ出の記といたします。

## 各地で続々導入中!! SAPTON<sup>®</sup>-Somanechi



好評

電算写植機サブトンソマネチが今、「経営の合理化と売り上げアップ」の旗手として絶大な人気を博しています。「多種少量の組版でも採算がとれる」ことから、東京をはじめ各地の大手・中小印刷会社・軽印刷会社でも続々導入中! 「電算写植を入れても……」の不安を解消しました。

東京都豊島区南大塚2-26-13 電話(03)922-2211 ●札幌・仙台・金沢・静岡・名古屋・大阪・広島・福岡

株式会社  
**写研**

### 日露戦争の頃

私の家は子供の頃に越前堀から八丁堀の竹河岸に引き移り、二、三年住んでいた事がある。幼少の時の記憶はこの八丁堀にいたときからのようで、竹河岸も今こそ汚ない川だが、その頃は青々として上げ汐になると四ツ手網でセイゴを取っていた。三浦三崎辺りから大勢の船頭が櫓を漕いで早船が、日本橋の魚河岸へ鮮魚を運ぶ早さに驚嘆したものである。丁度その頃日露戦争がはじまって、号外売りの鈴の音が毎日のように鳴り響いた。夕方元気のいい若い衆が川岸のお稻荷さんへ大勢集まって提灯行列に出掛けて行くのを見に行ったこともある。

八丁堀仲町の角に絵草紙屋があっ

## 遺稿集より

て、日露戦争の激戦の絵草紙が幾枚も店にぶらさげてあって、之をいつまでも見ている首が痛くなったこともある。小学校一年になって間もなく、区内の小学校全体で旗行列をしたが、その時分の日比谷公園はまだ未完成の所もあったがツツジが綺麗に咲いて居た。今は外国へでも行ったような丸の内も、その頃は夏になるとバッタを追いかけて歩いたり、椎の実やドングリの実を拾って遊んで帰ったこともある。京橋から浅草の観音様へ鉄道馬車に乗って連れて行って貰った事もあるが、雷門の「ときわ」へはいり御飯を喰べたが、そのとき座敷の中を仲売りが料理を売って歩いていたらような記憶がある。銀座一丁目には鐘工場が向い合っていて、よく見に行ったので、京橋畔の凱旋門は墨絵の竜が描いてあったのを覚えていた。大山元師や乃木大将が新橋から銀座通りを通過して凱旋した時は、天気が悪く見に連れて行って貰えなかったが、東郷大将と上村中将の凱旋は、父親の肩車に乗って桜田門の前で見た。馬車の上から敬礼して通って行った。八丁堀の夜は京橋での盛り場の一つで、寄席や古着屋が多かった。

(昭和三十二年 記)

### 酒

酒と言うものは世界の先進国も後進国

も酒のない国はない。その国その国の特有の酒が必ずあるようである。わが国にも清酒と言う日本特有の酒がある。この外にビールとか、ウィスキーなどが日本では多く愛飲されているが、世界人類の殆んどのものが、この至上の飲み物としての酒を私は好まない、飲めないのだから致し方ない。或いは体質的には片輪かも知れないと思っている。

そんな訳で若いときから私は酒を殆んど今日まで飲まない。すすめられて時には悪いなと思うこともあるが、成るべくお断りする。だから私の前に置いてある盃はいつでも飲まないからいつもいっぱいになっている。そんなとき私は少し飲めればなアと思うことがよくある。止むを得ず酌がれて盃を舐めるように口にすることもあるが、少しも美味くない。ただ苦いだけである。どうかして二、三杯盃を口にすると顔が真赤になって二、三合も飲んだような顔になる。その内に身体が惰くなる、我慢出来ないほど眠くなって来る。そのとき少し横になって眠れば目が醒めたときに頭が爽やかになっていい気分だが、酒席ではそんな訳けにはいかないので、ひとさんのように酒を飲んでも愉しみと言うものは少しもない。丁度煙草の嫌いな人がたばこを吞むとすぐ咽せて、ただ苦がいただけ

印刷製本が支える 組合給食

事業主と従業員の栄養源  
健康を守る

給食センター

中央厚生事業協同組合(551)4909

理事長 清水 栄之助

◎ご利用をお待ちして居ます

オフセットはハイデル

A3判単色, 多色, 多色両面機から,  
菊全判多色, 多色両面機まで豊富な機種。

グラフィックアーツの総合商社  
**印刷機械貿易株式会社**

本社 大阪府寝屋川市豊里町1番4号 TEL.0720(32)0441 5752  
東京事業部 東京都品川区南大井3-21-4 TEL.(763) 41141 14140



# 荻野義博氏



だと言うのと同じようなものではなからうか。だから私には酒の醍醐味などと言うものは全く判らないのである。

昔から酒は「百薬の長」と言はれており、また喜びも哀しみも酒。一日働いた疲れを癒すのも酒である。知友と語るとき酌み交わす酒は親しさを倍加する。多勢の人が集って歓談する宴会などにも酒はなくてはならないものである。

そんな結構な酒が私には飲めないから私は、よく交際にくいと言はれる事がある。然し私はどんな酒席へでも案内を受けたときは出来得る限り出席することになっている。一寸不可解のよう

に思はれるが、私は酒席(宴会)はまことに愉しいからである。言いたい放題のことを言い、またいい放題のことも聞けて、実に愉快である。話に掛け引がなく、開放的で真実がある。だから私は酒が飲めなくても酒の席へは努めて出席するのである。

酒は適量に飲めば「百薬の長」でもあり、社会生活に欠かせぬものに違いないが、度を過すと虎になる人を見うける。これは愛酒家でなくて、呑ん兵衛とか吾助とか言はれ、えてして他人に迷惑をかけることが多い。そればかりでなく、大事にすれば八十才位まで生きられる生命も、酒のために何に物にも替え難い命を粗末にして終う人もいる。こんな損なことはないと思う。若し私が酒が好きで大酒を飲んでいたら、あるいは今日まで皆さんにお目にかかる事が出来なかつたのではなからうかと私は考える。

(昭和四十七年 記)

## 偶 感

夕食のあと、手近かに積んである柳誌を見るのが私の癖のようになっていた。或る日手にしたのは「きやり」の三月号で頁を捲くっていくと、茶六先輩が毎号書き続けている「前後左右」の頁で一度は読んでいる筈だが半年も前のことになので、何にげなく読んで見ると、昨年

亡くなられた埼玉の本間ハロー氏の告別式に幸手町へ行った印象のことである。ハロー氏は病氣中の約一ヶ年ほどを柳界から遠ざかっていた為か、ハロー氏の葬儀に川柳家の会葬が少く、幸手の駅で焼香を済ませて戻って来た飛田 剽軽坊氏に遇っただけだと、もの足りない寂しい気持ちで筆を擱いていたが、ハロー氏が一時代華かに川柳活動を続けた人だけに感じた事と思う。

戦後の首都圏は膨大に膨れ上がり、川柳家の多くの方々の住居もお互いに遠くなった。折角訃報をうけても、ともしると心ならずも欠席してしまうことがあったが、之から努めて会葬には行かなければならぬと私は反省した。

× × ×

長屋連には古稀もすぎ喜寿を迎えんとする人達が分かる。だから古い昔の話に耽ける事があるが、その話の憂がそれからそれへと伸びて話は尽きない。

亡くなった川柳家の話になると句などちやんと復誦して、その作家の優れた作句力を称揚することがある。私も他人がいつまで覚えていて呉れるような句を一句でもいいから作りたいと思っているが中々出来そうもない。

(昭和五十三年 遺稿)

## 三菱製紙特約店

株式会社 三和洋紙店

本社 東京都中央区入船3丁目4番1号  
電話 東京 (552) 2731番 (代表)

四六四載オフセット

## オリバー 8

軽快・高速・重装備

580×440. 10,000枚/時

姉妹機：オリバー6 菊四載

オリバー12 菊半載

## 桜井機械販売株式会社

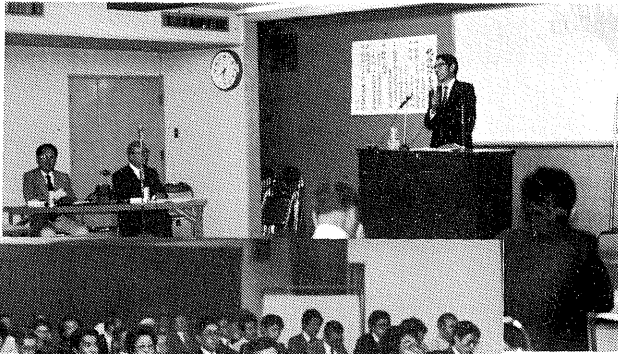
〒135 東京都江東区福住2-2-9  
電話 (03) 643-1131

# 相続税・贈与税など

## 盛会に税務研修会終る

支部ならびに印刷人青年会共催の税務研修会が、一〇月二三日午後五時より日本印刷会館七階講堂で、組合員、青年会々員及び各社経理担当者六五名を集めておこなわれた。

研修会は篠倉副支部長の税務と経理に対する正しい知識を身につけてほしいとの開会のことばにはじまり、小宮山支部長は、私ども印刷業界は、正しい申告と納税は国民の義務であることを再認識して頂きたい、また、そのことが各企業の繁栄にも繋がるものである、その意味でも本日の研修会を有意義にして頂きたいと挨拶をされた。



税務担当官の説明で熱心に研修する組合員

続いて京橋税務署 署長代理・大塚統括国税調査官より、京橋支部と研修参加の組合員に、税務知識の普及と税務行政への協力に対し感謝のことばが述べられた。その後、京橋法人会緒方専務理事より、法人会の活動報告と正しい税制改正運動を拡大するため、未加入の印刷組合員の法人会加入の要請がおこなわれた。

研修の第一のテーマ「最近の税務調査の動向と決算時の留意点」について、吉田統括国税調査官より、特に目立った誤りとして、(一)売上げの繰延。(二)棚卸の不正確。(三)交際費の限度額(一定額を超えないように)。交際費については税務上は広い解釈がおこなわれる、などの指摘がなされた。

次に、税務研修を実施するに当りアンケート調査の結果、最も多く希望のあつ

## 支部一〇八名の永年勤続従業員表彰

### 11月7日、於・都勤労福祉会館

京橋支部の永年勤続従業員表彰式が一月七日、八丁堀の東京都勤労福祉会館で開催され、今年度の表彰者は一〇八名であった。この日、表彰者は四一名が出席し、来賓には本部・矢板理事長、石沢副理事長と、久保田常務理事が、また、中央区長代理の鈴木木工課長、中央区工業団体連合会・白橋会長、そして支部顧問の伊坂、中村、市川の三氏が臨席された。

表彰式は午後四時五分、小山副支部長の、本日は受彰の皆様おめでとうございます、の、開会の辞にはじまり、小宮山支部長から、「菊かおるよき日に、京橋支部地区内従業員一〇八名の方を、永年勤続の表彰を行うことになりました。この

た研修第二のテーマ「相続税・贈与税」について、はじめに井出申告指導官による「広井家の相続会議」と題する具体的な話を盛り込んだスライドの映写が二分おこなわれ、その後、川島上席申告指導官の解説がなされて、二時間三〇分にわたる研修を大谷副支部長のご苦勞様の閉会のことばで終了した。

最後に税務研修会の出席票を全員から集めて、税務署に提出して散会した。

支部表彰を歴史的にひもときますと、二一年前の昭和三年に中央区公会堂で、三年以上の勤続を対象に表彰をおこなったのが最初でありました、当時は就職難でありました。

今日は、五年はおろか一、二年の勤続も少ない時代であります、このような世相のなかで本日受彰された皆様は五年、一〇年、そして一五年と勤続されて、企業活動の多種多様な業務に携わっておられることと思えます。

現代の若い人たちは五年ちがっても気が通じない、という変化の激しい世の中では、経営者と若い人たちの間に感覚の開きがあります。どうか受彰された皆様を中心に生まれまして、後進の若い



小宮山支部長より表彰状記念品が贈られる

人たちのご指導を頂けるよう念願するものであります。」と永年勤続を讃える挨拶がおこなわれた。

そして表彰に移り長島副支部長の司会で五年勤続三名、一〇年勤続四名、一五年勤続三五名が、各年度毎に一人ひとりの紹介がおこなわれて、それぞれ年度の代表に小宮山支部長から表彰状と記念品が贈られた。

表彰式のあと来賓の矢板理事長、中央区鈴木商工課長、石沢副理事長、伊坂京橋支部顧問の各氏から祝辞が述べられた。そのなかで矢板理事長は「皆さんは京橋支部という立派な支部から表彰された方で、印刷界の宝と申し上げても過



受表彰者が一人ひとり紹介される

言ではない。業界は今日、多くの難問を抱えているが、このような時代に皆さんが経営者の片腕となって活躍されることを切望します」とお祝いの言葉が述べられた。なお、鈴木商工課長も「中央区が本年度新規事業としての、勤労者生活資金融資制度は、民間金融機関の協力を得て、区内の中小企業で福利厚生制度が充てない事業所に勤務する方々に『臨時的に必要な生活資金』を融資するものです。融資については、勤務する区内中小企業の事業主の保証があれば応じられます。いつでもご相談下さい」と激励とお祝いが述べられた。

このあと、受表彰者を代表して一五年勤



表彰式を終えて和やかな祝賀パーティ

続の工藤勝己氏(白橋印刷所)が「私たちは文化の一端を担う印刷界に身をおいたことを誇りと思う、これからも印刷人として業界発展のために尽力していきたい」と謝辞をおこない、篠倉副支部長の閉会の辞で表彰式を終えた。

続いて祝賀会場に席を移して、長島副支部長の司会で、受表彰者を囲んでパーティーが開かれた、はじめに本部・久保田常務理事の首頭で乾杯がおこなわれ、来賓の東京都製本工業組京橋支部・中沢副支部長、中央厚生事業協組山本事務長。文化産業信用組合・大谷支店長の紹介がおこなわれるなど、午後七時すぎまで歓談が続けられ中村顧問の三本締で散会した。

どんな貯蓄目的にもピッタリ。有利さ抜群の

商工中金の財形貯蓄

マルザイ(財)リッショー

- 給料、ボーナスからの天引き積立て。●1口、1,000円単位から。
- 5年貯蓄で、確定高利回りのリッショーを、1円のムダもなく半年複利で運用。●(優)300万円とは別に、500万円まで無税。●社員持家制度などの促進をはかれます。

国が出資している  
**商工中金**  
 本店営業部  
 東京都中央区八重洲2-10-17  
 〒104 ☎03(272)6111(大代)

水野コレクション・シリーズ (5)

印刷文化の流れに沿って



(株) 水野写真工芸印刷所  
社長 水野 雅生

先日、東京上野の国立博物館において

「ゲーテンベルクからコンピュータまで印刷技術のあゆみ展」が開催され、発明当時の機械でドイツ人による公開実演が行われていましたが、その時の入場者の多いことには驚きました。また北海道印刷文化館の当水野コレクションによる印刷博物館になんと一万二千人余の入場をいただき、いかに多くの人々が印刷に対する興味があるか改めて知りました。

さて今回は当コレクションの中心ともいえる、ゲーテンベルクの印刷物など、インキュナビュラ(初期刊本)についてお話しを致します。

ゲーテンベルクの印刷術の発明

印刷機の発明はいろいろな発明の中でも最も偉大な発明の一つでありま



ゲーデンベルク

上に彼は書物を書写する苦勞を軽減するにはどのようにすればよい

初回にも述べたとおりダイナマイト、羅針盤、活版印刷機の発明をルネッサンスの三大発明と言います。火薬と羅針盤は共に十一、十二世紀頃、紙と同じように中国で発明された物で、アラブ人を経てヨーロッパに伝わりました。火薬はこの時代に改良されてダイナマイトが出来上り、やがて火薬を使って鉄砲の発明により戦争の仕方が変わり、騎士階級の没落

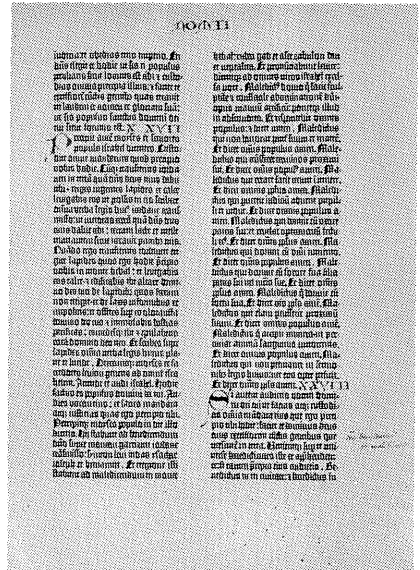
を促し封建制度の崩壊につながっていきました。また羅針盤も遠洋航海を可能にし、バスコ・ダ・ガマのインド航路発見や、コロンブスのアメリカ大陸発見などに尽しましたが、しかし印刷術の発明ほど文化の発展に与えた功績はありません。

印刷機発明以前、書物は修道院の中で僧侶達の手によって、一冊ずつ書かれるという苦心の末ででき上り、当時書物をもっと簡単に、しかも安く作れないかと考えられていました。そしてマインツの金細工師ヨハン・ゲーテンベルクが朝鮮の銅活字に遅れること数十年、欧州に最初の活版印刷を創始したのです。

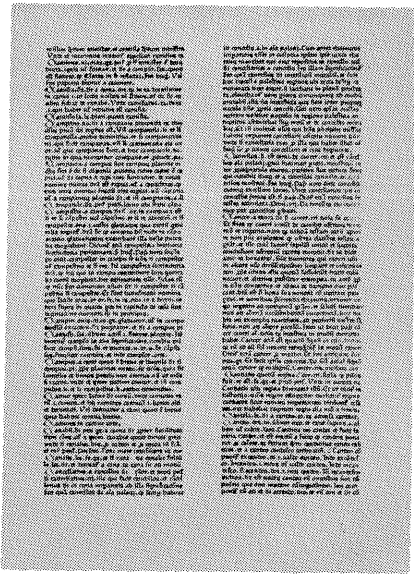
彼が発明で注目すべき所は金細工師であったことから、鉛と錫による鉛合金を使ってブロックによる活字を造ったことです。むしろこの発明の方が偉大であったともいわれています。

彼は金属による個々の活字の製作から、活字箱の排列、ステッキ、インキとインキつけのタンポ、印刷に適した用紙、また羊皮紙、その他印刷に必要な道具などあらゆる努力をしなければなりません。そしてゲーテンベルクが発明を完成するまでには長い年月がかかり、彼が持っていた祖先伝来の財産を費やしたばかりでなく莫大な借金を背負い込まなければなりません。

彼の印刷所の出資者である金貸しのヨハン・フストは一四五五年に返還不能で



「42行聖書」原葉 1455年



辞典「カトリコン」原葉

は印刷術がその出現時にはまだ揺り籠の中にあったというこゝとです。

活版印刷術は、その後またたく間にヨーロッパ各地に拡まり、この五十年間に印刷所の設けられた都市はおよそ二六〇ヶ所、一千軒を数え、その間印刷され

た書物は一千万冊にのぼりました。さて中世ヨーロッパの人々は、一部の僧侶、貴族をのぞきほとんど読み書きができなかつたので、こうした状態の中へ印刷術が普及した結果、多くの人達が文字に接し本を通じていろいろな事実を知



「聖詩篇」復刻版

は広く知れ渡っていますが、今日では約

グーテンベルクの印刷物のうち、聖書が援助の手をさしのべ第二の印刷工場を築くことができ、そこで一四六〇年、彼の手による辞典「カトリコン」や「免罪符」等を仕上げました。

グーテンベルクの印刷術を發明した一四五〇年頃より一五〇〇年までの約五〇年間に印刷されたものを「インキユナビユラ」あるいは「播籃印刷本」と呼ばれています。インキユナビユラはラテン語

で、おむつのことであり、播籃印刷本とは印刷術がその出現時にはまだ揺り籠の中にあったというこゝとです。

主張したりしやすくなりました。これを恐れた権力者が印刷物を敵視し、のちに印刷者を迫害するようになっていきまし

た。グーテンベルクの存命中にも印刷術は各地に拡まって行き

あることを理由に活字、印刷機および印刷中の「四十二行聖書」の刷本を取上げ、グーテンベルクの助手でフストの女婿、ペーター・シェファアと共に聖書の印刷を完了させました。ですからあの有名な「グーテンベルク聖書」(あるいは「四十二行聖書」ともいう)はシェファアとフストの手によって完成をみたといわれています。その後、フストとシェファアは印刷を企業化し「聖詩篇」など後世にのこる作品を生みだしました。

裁判にも敗れ、仕事場と印刷した聖書を失い、失意のどん底にあったグーテンベルクにも、また法律家のフメリー博士が援助の手をさしのべ第二の印刷工場を築くことができ、そこで一四六〇年、彼の手による辞典「カトリコン」や「免罪符」等を仕上げました。

グーテンベルクの印刷物のうち、聖書が援助の手をさしのべ第二の印刷工場を築くことができ、そこで一四六〇年、彼の手による辞典「カトリコン」や「免罪符」等を仕上げました。

た書物は一千万冊にのぼりました。さて中世ヨーロッパの人々は、一部の僧侶、貴族をのぞきほとんど読み書きができなかつたので、こうした状態の中へ印刷術が普及した結果、多くの人達が文字に接し本を通じていろいろな事実を知

た。グーテンベルクの存命中にも印刷術は各地に拡まって行き

た。グーテンベルクの存命中にも印刷術は各地に拡まって行き

た。グーテンベルクの存命中にも印刷術は各地に拡まって行き

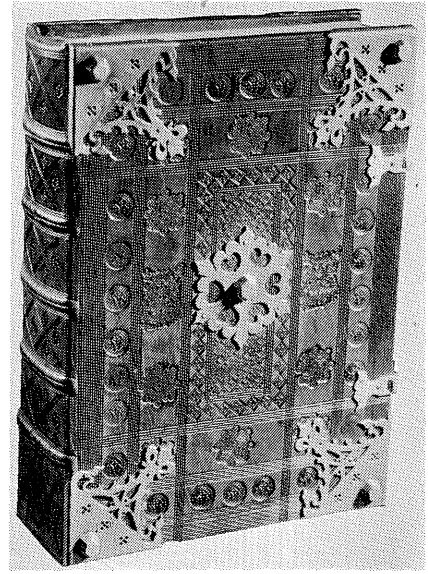
た。グーテンベルクの存命中にも印刷術は各地に拡まって行き

た。グーテンベルクの存命中にも印刷術は各地に拡まって行き

た。グーテンベルクの存命中にも印刷術は各地に拡まって行き

ました。今日、われわれがみるインキユナビユラ(初期刊本)はどれをみても大変なでき映えでありませんが、当時道具その他が不備であつたにもかかわらず印刷人が如何に丁寧に印刷し、又優れた技術をもっていたかが伺え知れます。

次回は印刷術の伝播や印刷術によって宗教改革が成功したことなどについてお話をします。



グーテンベルク聖書 復刻版 1978年刊

# 湊 地 区

## 懇親旅行記

一〇月二七、二八日の両日、地区恒例の年一回の懇親旅行を一泊二日の日程で、身延山―館山寺温泉―龍潭寺―奥山方広寺というスケジュールで行った。

今回は全行程がバス旅行なので、二七日午前七時三〇分に鉄砲洲公園前に参加者二九名、定刻八時に出発。往路は中央高速道路を一路目的地身延山へと向かう。早立ちなので早速モーニングサービスの軽食と飲物などを配り、早々と旅行気分ひたる。途中周囲の景色を楽しみ、ガイドさんの説明を聞きながら甲斐路へと入って行く、車窓からの富士山は七合目附近からうっすら雪化粧して秋の日差しに輝き全く素晴らしいの一語に尽きる、本栖湖畔でしばし小休止、シーズンオンのせいか静寂そのもの、旅のつづれに一首

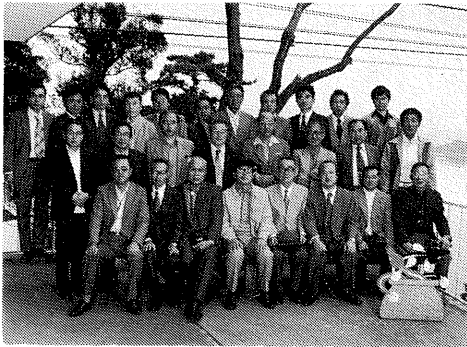
富士の雪 本栖の青さ 木々の紅  
自然に和む 親睦の旅

やがて身延山門前街に到着、精進料理で昼食、般若湯なども適量に入り、ほろ酔いになったのはいいが、ご存知の通り身延山の階段は、高さ約一〇五米、階段数二八七段である、みんなフーフー言いな

がら、やっこのことで上り参詣をする。身延山久遠寺は日蓮聖人が約七〇〇年前、晩年を過ごされた山で、甲斐の国波木井の領主南部六郎実長の招きで、文永十一年(一二七四年)五十三才の時入山し開創した所です。

身延山の参詣をすませ、いよいよ宿泊地の館山寺温泉に車を走らせまず途中数日前の台風の影響で、一部土砂崩れがあり、迂回路を回る破目になったが、幸い遅れもなく遠鉄ホテルに到着。

午後六時少し過ぎてから旅行最大の楽しみである宴会のはじまり、型通りの挨拶、乾杯のあと和やかな宴会になる、一寸?年増の昔の綺麗どころが脂粉の香をふりまきながら宴席にはべる、予約していたアトラクションのバンド演奏が一層宴席をはなやいだものにする、理屈抜き



大草山へのロープウェイ前で

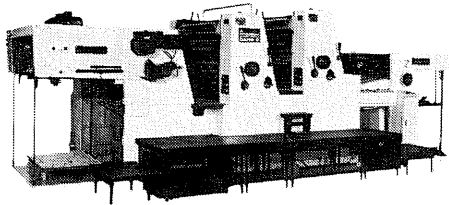
によく飲み、よく食べ、よく歌い、日頃の苦勞をしばし忘れた次第、中締め後各自思い思いの自由行動……

翌二八日の朝、ホテルから眺める、浜名湖は朝霧が立ちこめる中に静かに横たわっている感。朝食後全員で記念撮影をする、ホテルのすぐそばからロープウェイに乗り、大草山展望台へ。やがて遊覧船で鏡のような湖上を周囲の景色を見ながら瀬戸大橋まで回遊する。そこから再びバスに乗り込み龍潭寺に向う、龍潭寺の歴史は古く天平五年(七三三)に行基が開山したといわれ、井伊家(井伊直弼の始祖)の菩提所となったところで、寺内に左甚五郎の鷹張りの縁、龍の彫刻は有名で、本堂裏の小堀遠州作の池泉鑑賞式庭園は文化財指定名勝記念物となっている。古い山門をあとにして方広寺へ。

この深奥山方広寺の建立も古く、建徳二年(一三七一)で、開山無文元選禪師は後醍醐天皇の皇子にあたり、十八才で京都建仁寺に入って出家をされた、このように由緒あるお寺だけに、本堂、七尊菩薩堂、弁天堂等それは立派なもので、庫裡正面には山岡鉄州の書による「深奥山」の大額が掲げられている。現在でも深い山の中、約七〇〇年も昔にはおそらく人跡未踏のような地ではなかったかと思われ感無量のものがあった。

予定のコースも滞りなく終り、帰路に着く、浜松から東名高速道に入り、バスは東京に向かってひた走る。(幹事中山)

決定! オフ下請なら宏洋社



菊全2色三菱 NEW DAIYA II-2N 稼動開始  
中央区湊2-7-2 (有)宏洋社 ☎551-9992

# 泰平紙業株式会社

東京都文京区後楽2-1-8

(後楽ビル内)

電話東京(815)1651(代)



# 地区だより

## 早々と構改説明会

▼月島地区 前日の台風一過で秋晴れのよい天候に恵まれた一〇月二〇日、月島地区月例会を晴海のホテル・デン晴海のゴールドルームで、来賓の小宮山支部長と青年対策担当の長島副支部長をお招きして、また、本部・柿崎指導課長を煩わして東印工組が組織をあげて取り組んでいる、第二次構造改善計画の説明会を兼ねて、今期地区執行部の初めての企画

月島地区(株)美山堂  
元・製版部長

### 濁川武次氏黄綬褒章に輝く

秋の褒章授章が一一月一日発表され印刷関連業界から、中村正男氏(東印工組相談役)が藍綬褒章、濁川武次氏(株)美山堂元・製版部長)が黄綬褒章の栄誉に浴された。

黄綬褒章の濁川武次氏は京橋支部月島地区組合員(株)美山堂の囑託として勤務されています。



よるこびの濁川氏

で、一〇一会(月島地区青年部)と合同で、組合員及び青年部員を併せ二二名が参加して開催された。

例会は午後五時より室田地区幹事の司会で、はじめに安西地区長の開会の挨拶があり、来賓挨拶は小宮山支部長が立って「一九年ぶりの台風で皆様に被害はなかったか」とお見舞いを頂き、つづいて「平素から支部事業に地区長さんをはじめ幹事さん、また、組合員の皆様のご理解とご協力を心から御礼申し上げます」と述べられた。

次に安西地区長より一〇月一日に開かれた、支部地区長の報告が行なわれ、

### 濁川武次氏黄綬褒章に輝く

濁川氏は大正五年二月五日生れ、秋田県仙北郡の出身で、同地の金沢西根尋常小学校高等科を昭和四年三月卒業、同年四月小黑印刷入社、進昌堂印刷、興文堂印刷、白銀印刷を経て、昭和二八年(株)美山堂に入社。同社製版部長に昇進。五一年三月定年退職。現在、同社囑託。

この間に軍歴により、昭和一五年勲八等白色桐葉章を授ける。また職歴では、昭和三八年(株)美山堂、一〇年勤続精励賞。昭和五〇年東京都印刷工業組合二〇年勤続表彰。五一年東京都知事より業績精励賞。今回の黄綬褒章を授

当面の組合業務について、支部主催の税務研修会、本部でおこなう京橋・日本橋支部合同の第二構改説明会、支部永年勤続従業員表彰式、中央区商工従業員スポーツ大会等への参加要請があり、事業者台帖の集約は月末までに提出の願いがおこなわれた。

続いて司会者より紹介された柿崎課長は「私の生れは青森なものですから、皆様の前でお話しをすると、言葉の端はしに津軽弁が出てしまう」と自己紹介からはじまり、第二次構造改善計画について細部にわたる解説と、そのメリットについて説明が行なわれた。更に石曾根副支部長より、今後の構改は、第一次のようなグループづくりや、特別の賦課金が掛からないこと、そして誰でも参加が



月島地区月例会で、第2構改の説明を柿崎課長

仕安いこと、全員が国の助成を受ける資格を留保できること、など解りやすい話がおこなわれた。

例会の締めくくりの開会のことばが小池地区幹事がおこない会議を終了した。

このあと席を移して懇親会を司会を青年会石井会長にバトンタッチして、来賓の長島副支部長の挨拶があり地区長老の岸印刷所・岸社長の乾杯ではじめられ、カラオケの伴奏で次々と歌が披露され九時すぎまで歓談がおこなわれ、誠文社印刷・荒川専務の大締で盛会裡に散会した。(地区幹事室田)

## 支部の動き

10月3日 支部長会、於・印刷会館、小宮山支部長出席、郵便料金値上げ反対運動展開の支部提案。

10月8日 中央区工業展打合せ会、於・支部会議室、印刷関連業組合が昭和55年10月を目途に開催準備を相談。

10月11日 部長会、地区長会、於・支部会議室、支部行事参加について、第二次構改説明会の開催について、支部報原稿について打ち合せ。

10月17日 中央区工業展京橋支部打ち合せ会、於・支部会議室、

10月19日 (株)大成美術印刷所、会長・新保日志人氏の葬儀に小宮山支部ほか役員、組合員多数が参列。

10月22日 中央区工業展印刷関連業代表

者準備会、於・支部会議室。  
 10月23日 支部主催税務研修会、於・印刷会館7階、組合員及び各社経理担当者65名参加、最近の税務調査の動向、相続・贈与税について研修した。

大会、於・区立浜町体育館。支部役員及び青年会役員が世話役、組合員家族つれて多数参加。

11月12日 工団連常任理事会、於・中央区役所、新規加入東軽工中央支部の紹介、中央区工業展について討議。

10月26日 京橋、日本橋支部合同「第二次構改」説明会、於・印刷会館7階組合員86名が出席。

同 第二構改・京橋、新富地区説明会、於・支部会議室。組合員14名出席。

10月28日 荻野義博氏の葬儀に、小宮山支部長ほか役員及び組合員多数が参列。

11月14日 部長会、地区長会、於・支部会議室、第二次構改各地区説明会等について協議。

11月7日 支部主催「永年勤続従業員表彰式」、於・東京都勤労福祉会館、

11月15日 第二構改・湊地区説明会、於・支部会議室、参加組合員23名。

11月8日 佛三省社印刷所、会長・富田祐郎氏の告別式に小宮山支部長ほか組合員多数が参列した。

11月16日 第二構改・新川地区説明会、於・ダイヤビル、参加組合員33名。

11月10日 中央区商工業従業員スポーツ

11月20日 第二構改・築地区説明会、於・支部会議室。参加組合員17名

### 「京橋の印刷」広告募集

当京橋支部では、業界の推移、技術や営業の情報交換など組合員の結束を計るために、支部報「京橋の印刷」を刊行しています。就きましては時節柄誠に恐縮ですが、協賛広告にご応募くださいますようお願い致します。

#### 協賛広告掲載料金

|    |    |      |     |       |       |
|----|----|------|-----|-------|-------|
| 一段 | 天地 | 五〇耗  | 半年  | (六回)  | 金六万円也 |
|    | 左右 | 一四五耗 | 一ヶ年 | (十二回) | 金十万円也 |
| 半段 | 天地 | 五〇耗  | 半年  | (六回)  | 金三万円也 |
|    | 左右 | 七〇耗  | 一ヶ年 | (十二回) | 金五万円也 |

図案・版下は実費頂戴いたします。

東京都印刷工業組合京橋支部

同 入船地区説明会、於・小薬印刷会議室、参加組合員16名。

11月21日 第二構改・八丁堀地区説明会、於・白橋印刷会議室、参加組合員は26名。

同 第二構改・銀座地区説明会、於・みよし参加組合員16名。

同 中和印刷社社長・石崎武治氏

告別式、於築地本願寺、小宮山支部長ほか役員及び組合員多数が参列。

11月27日 第二構改・月島地区説明会、於・永代信用組合会議室、参加組合員14名。

#### 支部組合員の異動

新加入組合員 (54・11月)

創文印刷(八丁堀地区)

辻井智文、八丁堀3-22-9

組合脱退 (54・9月)

佛三昌堂、加藤厚太郎 (新川地区)

#### 計 報

10月18日 湊地区組合員 佛大成美術印刷会長 新保日志人殿。

10月27日 新川地区組合員 荻野印刷(社)長、荻野義博殿

11月4日 入船地区組合員 中和印刷(社)社長 石崎武治殿

11月7日 八丁堀地区組合員 佛三省社印刷会長 富田祐郎殿

以上の方々を御逝去されました、謹んで哀悼の意を表します。

## 編 集 後 記

▽本部三委員会(計画・小企業・事務用)主催の「小企業の生き抜く道をさぐる」と云うセミナーが行われたがその講師の一人石山四郎さんの話に非常に興味があった。

「我々は今豊かな社会を経験しているが、この豊かさの次には何が来るかそれは健康である。我々経営者は健康でなければつまり死んでしまつては何も創造することは出来ない」と云うのである。組合員皆様におかれても一年に一回は人間ドックに入って健康維持につとめていただきたいと願う次第である。

▽「桐一葉落ちて天下の秋を知る」秋たけなわ乃ち運動会、行楽、紅葉のシーズンであります。がしかしひるがえつてみると自民党が議席を失い政局不安定、物価騰貴が続くので公定歩合は又上げざるを得ない。

国際的にはアメリカの景気はダウン、十二月のオベックでは又石油値上げがありそう。そして九月の中間決算では大企業の殆どの増収増益などと発表されている。多くの識者の予想する所、来年は景気が悪くなるとすると我又中小企業は大企業に及びもつかないがその来年に向つて現在の収益をたくわえる以外に道はなさそうである。

浅野